

刈羽小だより



令和元年11月22日
No. 7

学びとは？そして非認知能力とは？

刈羽小学校の校舎から遠くに見える苗場山の山頂が白くなり、日一日と冬が近づいてきたことを感じる季節となりました。

今回は、読書の秋に私が気になって読んだ2冊の本を紹介します。

1冊目は、山内宏泰著『親が知っておきたい 学びの本質の教科書—教科別編』（朝日学生新聞社）です。この本では東大受験漫画『ドラゴン桜』に登場する弁護士・桜木建二が、「2020年の教育改革」に対応する

ために役立つ情報を、国語・算数・社会・理科・英語・ホームルームの6時間に見立て、その道の第一線で活躍している人に取材して披露するという形式で書かれています。

この中で、探求学舎代表の宝槻泰伸（ほうつきやすのぶ）さんは次のように述べています。「当たり前のことですが、テストの点数や偏差値をあげることは学びの本質ではありません。そして、将来的に、このこと自体が価値を失っていく可能性すらあります。だからこそ、『自分は何のために学ぶのか？』という問いを大切に扱っていく必要があります。（中略）この世界に秘められたさまざまなしくみや物語—。そうしたものを一つひとつ掘り起こして、自分の世界観を広げ、世界を見る解像度を高めていくこと—。ものごとの真価を深く味わえるようになること—。これが僕にとっての学びの本質です。」

2冊目は、大豆生田啓友（おおまめうだひろとも）・大豆生田千夏（ちか）著『非認知能力を育てるあそびのレシピ 0歳～5歳児のあと伸びする力を高める』（講談社）です。この中で、「『非認知能力』とは、簡単に言えば、読み・書き・計算などの『認知的能力』でない力、あるいは数値化しにくい能力のことです。（中略）より具体的には、何かに熱中・集中して取り組む姿勢、自分の気持ちをコントロールできること、他者とうまくコミュニケーションできること、自分を大切に思えること、といった力のことなのです。」と述べられています。そして、「非認知能力を育てる」子育てで大切なこととして、次の6点を紹介しています。

- ①親子のスキンシップや甘えなどを通して、心の安心基地を作る。
- ②子どもの個性（その子らしさ）や主体性（自己決定）を大切にする。
- ③子どものがんばっている姿をほめ、小さな成功体験を大切にするなど、自己調整力を育てる。
- ④多様な遊び体験を通して、好奇心を持ったり、夢中になる経験をする。
- ⑤外あそびを通して、多様にからだを動かしたり、自然にふれたりする経験をする。
- ⑥絵本の読み聞かせを通して、コミュニケーションや言葉への興味を大切にする。

是非ご一読ください。

校長 佐藤 克己



10・11月の出来事

第1回移行学級

10月24日

10月24日(木)に、来年度入学する予定の子どもたちと保護者を対象とした第1回移行学級が行われました。

当日は、保護者向けの講話に南魚沼市家庭教育支援チーム「だんぼの部屋」の星野栄子様、若井正子様を

講師にお招きし、入学にあたっての悩みについてのアドバイスをいただきました。



校内読書旬間の取組

10月29日～11月8日



児童朝会(10月29日)



図書委員会によるしおり作り(11月12日)



10月29日(火)～11月8日(金)は、校内読書旬間でした。まず29日(火)の児童朝会で、図書委員会による「本に親しもう！クイズ」を実施しました。本に関する楽しいクイズに対して、ファミリー班で相談して考えました。

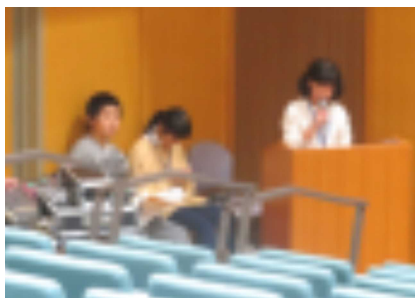
10月30日(水)には、職員による辻読書(読み聞かせ)を実施しました。これまでも学級担任が全校読み聞かせの時に何名かで実施していましたが、今回は18名の職員が校内で一斉に読み聞かせをし、子どもたちは楽しいひとときを過ごしました。

読書旬間の取組として、しおり作り応募券も発行しました。これは、本を借りてスタンプを押すと、手作りしおり作りに参加できるというものです。11月12日(火)には、多くの子どもたちがしおり作りを楽しみました。

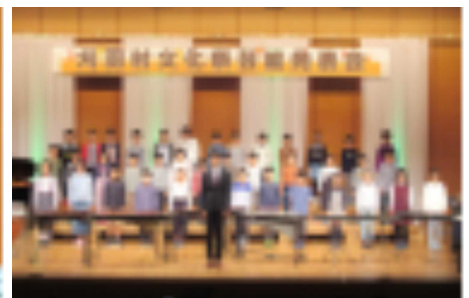
刈羽村文化祭

11月2日・3日

11月2日(土)・3日(日)にラピカで刈羽村文化祭が開催され、2日には6年生がボランティアとして活躍しました。3日には4年生がホールいっぱいに、素晴らしい歌声と演奏を響かせ、会場から大きな拍手をいただきました。



6年生の活躍(11月2日)



4年生の発表(11月3日)

1年生ハムスターの飼育開始

11月5日

1年生は、生活科「いきものとなかよし」の学習で、1・2組合同のあおぞら会議を開いて、育ててみたい生き物について10月から話し合いを進め、ハムスターを飼うことに決定しました。そして、ハムスターについて図鑑などで情報を集め、ハムスターを迎える準備を進めてきました。

そして、11月5日(火)、ハムスターが刈羽小学校に到着しました。ハムスターと対面した子どもたちは、「かわいいね。」と大興奮でした。あおぞら会議で名前を「ももちゃん」とし、頑張ってお世話をしています。



5年生収穫を感謝する会

11月6日

11月6日(水)に、5年生が「収穫を感謝する会」を実施しました。当日は、親子で刈羽産の食材を使ったメニューを調理し、豆腐作りにも挑戦しました。お世話になった方々を招待した発表会では、

「食品ロス」についてのクイズや提案を行いました。そして、会食会では、親子で作った手料理で、今年度の収穫に感謝をして、おいしくいただきました。子どもたちの一生懸命さが伝わった心温まる感謝する会になりました。



4年生小中合同音楽会

11月8日

11月8日(金)に、4年生が柏崎市文化会館「アルフォーレ」で小中合同音楽会の発表を行いました。前日には全校の前で発表もし、その成果を生かして「パプリカ」の合唱と「Friend Like Me」の合奏を堂々で行いました。会場の素晴らしさもありましたが、透き通った歌声と演奏が会場全体に広がり、聴いていた皆さんの心に響きました。



生活朝会「心をつなぐあいさつ 5つのポイント」

11月12日

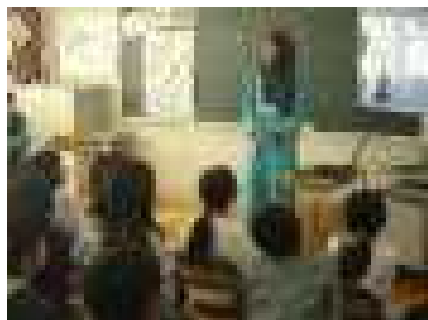
11月12日(火)に、「心をつなぐあいさつ 5つのポイント」をテーマに生活朝会を実施しました。

学校や家庭・地域で気持ちの良い

あいさつを広げるために、右の5つのポイントを子どもたちに紹介しました。そして、さっそく翌日から生活委員会以外の子どもたちもあいさつボランティアをしています。



国際セミナーとEnglish Day (イングリッシュデイ)



3年生の国際セミナー

5年生「英語で自己紹介しよう」

6年生「英語劇」

平成28年12月21日の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等教育学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について」の中で、「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」として、「グローバル化の中で世界と向き合うことが求められている我が国においては、自国や他国の言語や文化を理解し、日本人としての美徳やよさを生かしグローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成が求められている。」と述べられています。そして、令和2年度から5・6年生は外国語科が年間70時間、3・4年生は外国語活動が年間35時間位置付けられます。

11月18日(月)に行われました国際セミナーとEnglish Dayは、この答申の実現に向けた具体的な取組です。今年度は、English Dayを昨年度までの6年生に加えて5年生でも実施しました。5年生はALTの先生にアドバイスをいただきながら、英語で自己紹介をしました。どの子もジェスチャーを交えて、堂々と発表することができました。6年生は同じくALTの先生のアドバイスをいただきながら、自分たちで考えたドラえもんを英語で発表しました。1～4年生も県内の留学生の皆さんから、言語や文化などについて教えていただき、充実した時間を過ごすことができました。

学校支援ボランティア、ありがとうございます。

今年度も5・6年生の家庭科でのミシンの学習でご協力をいただきました。また、卒業生へのコサージュ作りも進めています。今年度はどんなデザインか、今から楽しみです。



12月の主な予定

3日(火)	全校朝会、ファミリー給食
4日(水)	諸費入金締切
5日(木)	音楽課外最終(4・5年)
6日(金)	委員会
10日(火)	Web算数実施
11日(水)	全校5限放課(～13日)
12日(木)	Web国語実施
13日(金)	全村あいさつ運動
18日(水)	清掃強調日①
19日(木)	大掛臨床心理士巡回相談
20日(金)	全校読み聞かせ 清掃強調日②
23日(月)	2学期終業式 給食最終日
24日(火)	冬季休業(～1月7日)
25日(水)	閉庁日(～1月6日)